

SALT & SEAWATER SCIENCE SEMINAR 2011

財団法人 塩事業センター 海水総合研究所



早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

東京都新宿区西早稲田 1-20-14

JR高田馬場駅より都バス早大正門行き、西早稲田バス停下車、徒歩約5分
東京メトロ東西線早稲田駅下車(3a、3b出口)徒歩約13分
都電荒川線早稲田停留所下車、徒歩約5分

お問い合わせ先



財団法人 塩事業センター
海水総合研究所

〒256-0816
神奈川県小田原市酒匂 4-13-20
財団法人 塩事業センター 海水総合研究所

TEL : 0465-47-3161 FAX : 0465-48-6242
URL : <http://www.shiojigyo.com/a060laboratory/>
E-MAIL : kouenkai@hq.shiojigyo.or.jp

SALT & SEAWATER SCIENCE SEMINAR 2011

財団法人 塩事業センター 海水総合研究所



様々な資源回収技術開発に挑戦する
わが国固有の製塩技術

入場
無料

日時 : 12月22日(木) 13:00 ~ 16:30 (12:00開場)

場所 : 早稲田大学国際会議場 1階 井深大記念ホール

主催 : 財団法人 塩事業センター 海水総合研究所

お申し込み不要

協賛 : 公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団、公益社団法人 化学工学会、
日本イオン交換学会、日本海水学会、日本膜学会、分離技術会

Na
Sodium

様々な資源回収技術開発に挑戦する わが国固有の製塩技術

K
PotassiumLi
LithiumLi
Lithium

今、日本固有の製塩技術であるイオン交換膜法が、世界で注目されつつあります。ZDD (Zero-Discharge Seawater Desalination) は、その言葉どおり、淡水化プロセスから排出される濃縮海水から有価資源を回収する技術のことですが、それにイオン交換膜法が活用されようとしているのです。

海水総合研究所は、これまでイオン交換膜法を活用した様々な資源回収技術を開発して参りました。もちろんその一つが製塩技術ですが、最近では、海水からの有用資源回収、南米塩湖かん水からのリチウム回収技術も研究対象として検討を進め、今後は上記 ZDD と同じく淡水化、製塩を組み合わせた海水総合利用技術まで研究範囲を広げることを考えています。

本セミナーでは、イオン交換膜法を基軸に、これまでに当研究所が検討を進めて参りました様々な資源回収技術とともに、現在実用化を目指して開発を推進している南米塩湖かん水からのリチウム回収技術にスポットを当て、開発状況を紹介します。

theme 1

わが国固有の製塩技術とそれを活用した 海水総合利用技術への展望

財団法人 塩事業センター 海水総合研究所

所長 長谷川 正巳

theme 2

海水からのカリウム、マグネシウムなどの 有用資源回収技術開発

財団法人 塩事業センター 海水総合研究所

研究員 鴨志田 智之

theme 3

世界におけるリチウム資源開発の動向

三菱商事 株式会社 環境・水事業本部

自動車関連事業ユニット 次長 澤田 明

theme 4

南米塩湖かん水からの リチウム回収技術開発の現状と展望

財団法人 塩事業センター 海水総合研究所

主任研究員 瀧脇 哲司